

1 第五次宮崎市総合計画の改訂（計画期間変更）に伴う改訂の概要

(1) 各計画の位置付け

【第五次宮崎市総合計画】

- 本市の最上位計画であり、市政を総合的かつ計画的に進めていくためのまちづくりの指針

【第2期宮崎市地方創生総合戦略】

- 人口減少を抑制しながら、市民の生活の質や満足度を高める本市地方創生の目標や方向性を定めるもの
- 第五次宮崎市総合計画に含まれている

【第2期みやざき共創都市圏ビジョン】

- 宮崎市、国富町及び綾町で構成する「みやざき共創都市圏」の将来像とその実現に向けた取組を示すもの
- 宮崎市、国富町及び綾町の総合戦略に含まれている

第五次
宮崎市総合計画

第2期
宮崎市地方創生
総合戦略

第2期 国富町
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

第2期 綾町
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

第2期みやざき共創都市圏ビジョン

(2) 第五次宮崎市総合計画の改訂（計画期間変更）における基本計画各章の主な改訂内容

章	主な改訂内容
第1章 基本計画の構成と推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間（平成30年度（2018年度）～令和6年度（2024年度））、基本計画名称（「前期基本計画」→「基本計画」）、会議体名称（「宮崎市総合計画策定会議」→「宮崎市総合計画策定・推進会議」）の変更。
第2章 財政の見通しと行政経営のあり方	<ul style="list-style-type: none"> 章の名称を「第五次宮崎市総合計画改訂の経緯と今後の財政の見通し」に変更。 第五次総合計画改訂の経緯付記。 社会情勢の変化により柔軟に対応するため「都市経営の基本方針」を廃止し、令和5年度（2023年度）及び令和6年度（2024年度）の2カ年については、「力強い経済への挑戦」「誰一人取り残さない社会づくり」「未来への投資」といった新たな市政運営の方針のもと、時代の潮流などを踏まえて「戦略プロジェクト」を再構築し、各種施策を推進する旨付記。 中期財政計画の令和4年度（2022年度）見直しを踏まえ、「普通会計収支見通し」「財政調整基金残高」「市債残高及び市債発行額」グラフを更新（平成30年度～令和3年度：実績額、令和4年度～令和6年度：見込額）。
第3章 戦略プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 本市の現況、社会情勢の変化を踏まえ、これまでの5つのプロジェクトを廃止し、3つのプロジェクトと、それらに連なる10の重要施策で構成される「戦略プロジェクト」を再構築。
第4章 健全な行財政運営の確保に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> KPI等の令和5年度（2023年度）及び令和6年度（2024年度）目標値設定。 KPI等の新設（変更）、廃止（削除）。
第5章 まちづくりの基本目標を達成するための具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 現況に合わせ、KPI等所管課、各主要施策に関連する個別計画等の名称変更。 社会情勢の変化による表現等の修正。

この部分の改訂内容を「第2期宮崎市地方創生総合戦略」にも反映

(3) 第五次宮崎市総合計画の改訂に伴う、第2期宮崎市地方創生総合戦略の改訂内容

- 「第五次宮崎市総合計画」の改訂で再構築した新たな「戦略プロジェクト」の内容を、「第2期宮崎市地方創生総合戦略」の「重点プロジェクト※」に反映
※従来から「重点プロジェクト」の内容は、「戦略プロジェクト」の内容と一致しているが、「重点プロジェクト」の名称自体も「戦略プロジェクト」に統一する
- 「第五次宮崎市総合計画」の改訂で設定した延伸分KPI等のうち、「第2期宮崎市地方創生総合戦略」と重複している80のKPI等の内容を反映
- ②に加えて、「第2期宮崎市地方創生総合戦略」のみに設定されている12のKPI等についても、庁内での協議・検討を踏まえ、必要な見直しを行う

① 新たな「戦略プロジェクト」の内容を「重点プロジェクト」に反映 ※名称自体も「戦略プロジェクト」に統一

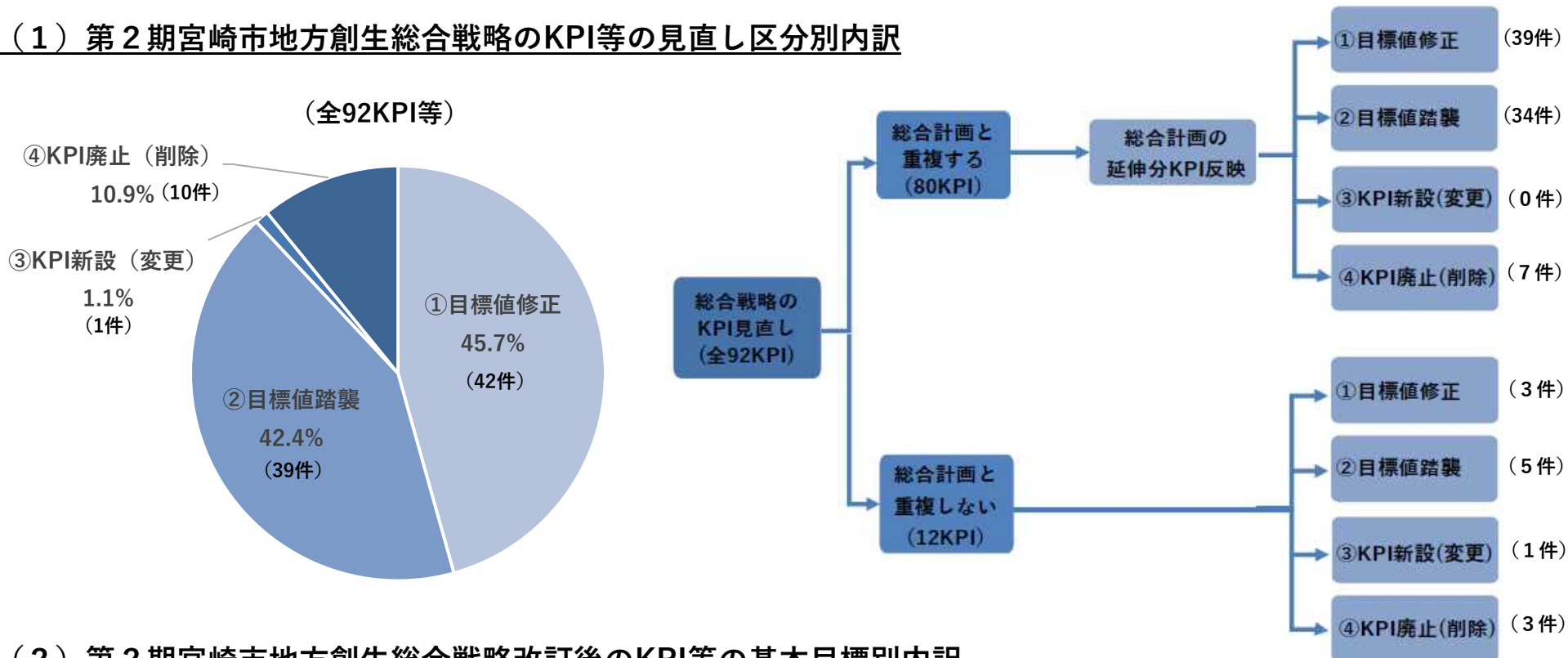
<p>プロジェクト1</p> <p>力強い経済への挑戦</p> <p>地域経済は、市民の生活を支え都市の成長・発展を促す基盤であり、地域の活力をさらに高めていくためには、企業活動や労働で生み出された付加価値を停滞させることなく、分配・消費につなげる循環を目指し、経済を成長させていくことが重要です。</p> <p>このようなことから、本市では、付加価値の創出や経済活動に必要な人材の確保、都市基盤の整備を推進します。</p> <p>また、外貨を稼ぐ視点から、観光・スポーツ振興を図り、さらなる本市の経済成長を促進します。</p>	<p>重要施策1-1 宮崎経済の成長</p> <p>重要施策1-2 雇用の創出・人材の確保</p> <p>重要施策1-3 経済を支えるまちづくり</p> <p>重要施策1-4 外貨を稼ぐ観光・スポーツ振興</p>	<p>公民連携による成長戦略を推進するとともに、デジタル基盤の整備に取り組みます。 また、付加価値の創出を行うほか、農畜水産物の販路拡大を図ります。</p> <p>起業・創業・事業承継について支援するとともに、企業誘致を推進します。 また、移住・定住を促進するほか、在住外国人の生活・就労の支援、学生の県内定着支援、さらに高齢者の就労支援を行うことにより、人口減少社会における人材の確保を図ります。</p> <p>陸・海・空の総合交通網について充実を図るとともに、都市インフラの整備・維持を着実に進めるほか、中心市街地の再生を図る取組を推進します。 また、市庁舎・消防庁舎の早期整備、防災・減災対策を推進します。</p> <p>プロスポーツキャンプの受入環境について充実を図ります。 また、自然環境をいかした観光資源の開発・整備、インバウンド受入環境の充実を図るとともに、MICE・スポーツイベントの誘致・支援を推進します。</p>
<p>プロジェクト2</p> <p>誰一人取り残さない社会づくり</p> <p>SDGsの「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、本市としても、持続可能で多様性と包摂性のある社会づくりに取り組むことが重要です。</p> <p>このようなことから、本市では、全ての市民の健康増進・福祉の充実を図るほか、女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる社会づくり、多様な市民がその置かれた環境にかかわらず活躍できる社会づくりを推進します。</p>	<p>重要施策2-1 健康の増進・福祉の充実</p> <p>重要施策2-2 女性の活躍の推進</p> <p>重要施策2-3 多様な市民が活躍する社会づくり</p>	<p>感染症対策の充実・強化を推進するとともに、エビデンスに基づく病気の予防・早期発見の推進を図ります。 また、高齢者・障がい者の福祉を支える人材の育成・確保を図るとともに、介護予防を推進します。</p> <p>ジェンダー平等を実現する意識改革を推進するとともに、女性の就業環境の整備やワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。 また、女性特有の健康問題に対する支援を促進します。</p> <p>誰もが参加しやすい地域コミュニティづくりを推進します。 また、障がい者の自立・共生に向けた環境づくりを推進するとともに、在住外国人の生活・就労支援、性的少数者の暮らしやすい環境づくりや困難を抱える世帯への支援の充実を図ります。</p>
<p>プロジェクト3</p> <p>未来への投資</p> <p>少子高齢化が急速に進行する中、生産年齢人口も急速に減少していくことから、今後その対策が重要です。</p> <p>そのために本市では、将来世代への投資という観点から、少子化対策・子育て支援を強化します。</p> <p>また、質の高い学校教育の推進を図るほか、ゼロカーボンシティの実現を目指します。</p>	<p>重要施策3-1 少子化対策・子育て支援の推進</p> <p>重要施策3-2 質の高い学校教育の推進</p> <p>重要施策3-3 ゼロカーボンシティの実現</p>	<p>パートナーとの出会いを支援するとともに、妊娠・出産に関する支援の充実を図ります。 また、ひとり親家庭の子育て支援や子どものSOSへの対策を強化するとともに、子どもが学び、遊べる場の整備・充実を促進します。</p> <p>教職員の働き方改革を推進するとともに、教職員の人材育成に取り組みます。 また、GIGAスクール構想を推進し、学習環境の整備・充実を図ります。</p> <p>再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進を図るとともに、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を促進します。</p>

人口減少対応策

戦略プロジェクトの展開に当たっては、本市の喫緊の課題である「人口減少」へ立ち向かうために、「自然増」及び「社会増」の視点から取り組むこととし、さらに、人口減少下においても社会機能を維持していくための「生産性向上」の視点を取り入れることとします。
また、戦略プロジェクトの推進に当たっては、あらゆる分野で『公民連携』及び『DX（デジタルトランスフォーメーション）』の手法の活用を検討することとします。

- ② 「第五次宮崎市総合計画」の延伸分KPI等のうち、重複している80のKPI等の内容を反映
- ③ 「第2期宮崎市地方創生総合戦略」のみに設定されている12のKPI等の見直し

（1）第2期宮崎市地方創生総合戦略のKPI等の見直し区分別内訳



（2）第2期宮崎市地方創生総合戦略改訂後のKPI等の基本目標別内訳

基本目標	改訂前 (92KPI等)	見直し後 (82KPI等)
基本目標Ⅰ 良好な生活機能を確保する	44	38
基本目標Ⅱ 良好な就業環境を確保する	28	25
基本目標Ⅲ 魅力ある価値を創出する	14	13
基本目標Ⅳ 地域特性に合った生活基盤を確保する	6	6

2 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた改訂

改訂(案)

1 総合戦略における基本的な考え方
(略)

(総合戦略の冊子P2)

(3) 「Society5.0」及び「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた技術の活用

我が国が目指すべき未来社会の姿として、未来技術を活用した社会「Society5.0」が提唱されているが、情報通信技術をはじめとした未来技術は、従来の生産・流通、生活に飛躍的な進歩をもたらすものであり、地域の利便性や生産性の向上を通じて地域を豊かで魅力あるものにすることが期待されている。

また、令和4年12月に国が策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」では、テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、デジタルの力を活用した地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化させることとしている。

本市においても、こうした社会をイメージしつつ、AIやRPA、ビッグデータ の利用などデジタルの力を活用することにより、本市におけるデジタル・トランスフォーメーションを推進し、直面する地域の課題解決や活性化及び行政内部の業務効率化に取り組み、市民サービスや社会・生活のさらなる質の向上を目指していく。

現行

1 総合戦略における基本的な考え方
(略)

(総合戦略の冊子P2)

(3) 「Society5.0」の実現に向けた技術の活用

我が国が目指すべき未来社会の姿として、未来技術を活用した社会「Society5.0」が提唱されているが、情報通信技術をはじめとした未来技術は、従来の生産・流通、生活に飛躍的な進歩をもたらすものであり、地域の利便性や生産性の向上を通じて地域を豊かで魅力あるものにすることが期待されている。

本市においても、こうした社会をイメージしつつ、AIやRPA、ビッグデータなどの活用により、本市におけるデジタル・トランスフォーメーションを推進し、直面する地域の課題解決や活性化及び行政内部の業務効率化に取り組み、社会・生活のさらなる質の向上を目指していく。

2 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた改訂

改訂(案)	現行
<p>(総合戦略の冊子P10)</p> <p>1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」 基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) <p>■ 結婚・妊娠・出産・子育て施策におけるDXの推進やデジタル技術を活用した少子化対策に取り組むとともに、各種手続き等の事務負担の軽減や利便性向上を図る。</p>	<p>(総合戦略の冊子P10)</p> <p>1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」 基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略) ■ (略)
<p>(総合戦略の冊子P14)</p> <p>2 2025年問題を見据えた「医療・福祉の充実」 基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ (略) ■ (略) ... ■ (略) <p>■ 健康の増進や切れ目のない質の高い医療の提供、福祉サービスの質の確保等を図るため、医療・福祉分野のDXを推進するとともに、各種手続き等の事務負担の軽減や利便性向上を図る。</p>	<p>(総合戦略の冊子P14)</p> <p>2 2025年問題を見据えた「医療・福祉の充実」 基本的方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (略) ■ (略) ■ (略) ... ■ (略)